

令和4年度 第3回瑞浪市文化財審議会 会議録

■日 時：3月2日（木）13時30分から15時00分まで

■場 所：瑞浪市化石博物館（別館：研修室）

■出席者：青木本吉、小栗幸江、小栗 茂、可知正己、加知久宗、小木曾健夫、
三戸憲和、柴田明芳、山田和洋

欠席者：（なし）

事務局：水野課長、砂田係長

■あいさつ

水野課長あいさつ（内容は省略）。

過半数委員の出席による会議成立の宣言。

■報告事項

（1）令和5年度文化財関連事業計画について

会 長：令和5年度文化財関連事業計画について事務局からの説明を求める。

事務局：令和5年度の博物館事業を含む文化財関連事業計画は資料1の通り。
記載順序や施策名称等は「瑞浪市教育振興基本計画」に基づいており、
令和5年度の具体的な事業内容は主な取組を確認されたい。

会 長：只今事務局から説明があった、事業計画についてご意見、ご質問等が
あれば発言をお願いしたい。

委 員：施策1の主な取組③にある、日吉町の弁天池の説明看板を修繕する件
について、修繕と直接関係するものではないが情報提供を行いたい。
近年、弁天池周囲の土地が売買され、その土地で動物を飼育する計画
があると聞いた。住民説明会に参加したところ、排水が弁天池に流入
することが危惧されるような内容であったが、結果的に事業は中止と
なった。

法的に事業を禁止することは難しいと思われるが、文化財保護、ある
いは景観や環境を守るために何らかの規制が行われることが望まし
いと考える。

委 員：近年は、太陽光パネル関連の開発事業も市内で多く見られ、住宅地に
近接した場所で計画がなされることもあるようである。景観や環境は
もとより、埋蔵文化財保護の観点からも好ましくない事例がみられる
のも事実である。

委 員：施策2の主な取組②にある、歴史案内ボランティア育成について、過
去には市で所有していたバスで管外研修などが気軽に実施できる状

況であった。今後、バスを利用しやすい環境を整えてもらえるとボランティア育成にもつながるのではないか。

委員：主な取組③にある、学校との連携についても同様であると考え。市内の小・中学校であっても遠方の学校が博物館を利用したり、中山道の見学などを行う際にはバスを利用しなくてはならない。学校との連携を推進するためには交通手段を確保することが必要である。

委員：ただ今、学校との連携について意見が出されたので、その点について私見を述べたい。それは伝統行事や郷土文化についてである。例えば、陶磁資料館所蔵の土人形を学校で展示するなど、学校との連携の手段として、伝統行事や郷土文化を利用することを検討してほしい。

委員：施策4の主な取組①について、後継者育成は短期間で成果が出るものではなく、継続して実施することが重要と考える。各保存団体で状況は異なると思うが、後継者育成には費用が必要となるのが現状である。各団体の実情に応じて補助額を見直すことも必要と考える。

事務局：貴重なご意見ありがとうございました。令和5年度以降の事業実施に際して配慮することとします。

■その他

会長から「文化財保護に係る専門職員の確保についての要望書」を12月22日に教育長に手渡した旨の報告があった。

事務局から、文化財審議会の現任期がこの3月で終了すること、現在の委員のうち3名が退任し、新規に2名が委員に加わる見込みであることを伝えた。